

雜 錄

●英國本年の製鐵業

英國の本年に於ける製鐵業に就て最近到着した倫敦エコノミスト及びアイアンエンド、コール、トレード、レビュイ等の記載に依れば、三月に於ける銑鐵の產出額が六十九萬九千噸であり、鋼塊及び鑄物が八十四萬噸であつたとのことである、かうしてこれで英國に於ける本年の第一期の成績は分明した、そして第一期の成績は應て英國の本年中の製鐵業の前途を卜するバロメーターとなるので、こゝに少しく考察を加へる所以である。

英吉利の朝野を擧げて戦後の復舊に熱中してをることは著しい事實であるが紡績業及び製鐵業は英吉利の恢復を測定するに足る二個の事業とせられてをる、紡績業は今暫く措いて製鐵業から觀察した英吉利の國力は、大體に於て戦前に恢復し又は復舊しやうとしてをると云ふも差支がない少くとも本年の第一期の成績は、予をして斯く語らしむるを躊躇せしめないものである。

先づ銑鐵の產出額から檢覈することにする、即ち本年の一月から三月に至る第一期の產額を示すならば、左表の如きものである。

月 別	月 產 額	日 產 額
一 月	六六五、〇〇〇	二二、五〇〇
二 月	六四五、〇〇〇	二二、二〇〇
三 月	六九九、〇〇〇	二二、五〇〇
合 計	二、〇〇九、〇〇〇	—

右表に依れば二月の六十四萬五千噸は、一月の六十六萬五千噸に對照して減少を示すかに受取られるが、二月は二十九日の月であつたがために、その累計に於ては一月に及ばなかつた、併し一月に於ける日々の產出額が二萬一千五百噸であつたのに二月は二萬二千二百噸を示し、七千噸の増加である、處が三月には俄に產額の激嵩となつて、六十九萬九千噸てふ數量を計上してをる、これを昨年に於けるレコードたる矢張り三月の六十九萬一千噸に對照すれば、正に八千噸の躍進であり、又昨年中の月平均の產額六十一萬七千噸に比較すれば、確に注目に値する產額である、併し一九一八年に於ける月平均の產額たる七十五萬六千噸及び一九一三年の十五萬五千噸に對照すれば、休戦以來のレコードとせられる本年三月の銑鐵產出額も、決して戦後に於ける英國の國力を快復し得た象徴と云ふのは早計であらう、併し英國に於ける復舊事業が着々として進捗しつつあることは看取せられるのである。

試みに一月から三月に至る銑鐵の種別を示せば左表の如きものである。

種 別	一 月	二 月	三 月
-----	-----	-----	-----

赤鐵鑄	二四〇、〇〇〇 噸	二三四、〇〇〇 噸	二五四、〇〇〇 噸
鹽基性	二二九、〇〇〇	二二三、〇〇〇	二四七、〇〇〇
鍊鑄治	一八〇、〇〇〇	一七〇、〇〇〇	一八一、〇〇〇
合 成	一六、〇〇〇	一八、〇〇〇	一七、〇〇〇

以上述べたやうに、英國に於ける本年第一期の銑鐵產出額は一月より二月、二月より三月と云ふやうに、月毎に著しい進展を示して、如何に英人が復舊の大事業に努力しつつあるかを察することが出来るのであるが、遺憾ながら戦前の盛況に及ばないのみでなく、休戦成立の一昨年にすら及ばないのである。

然らば英國の鋼塊及び鑄物の產出額は如何なる状態にあるか、その真相を明かにした以後でなければ、未だ英國の製鐵業の前途を批判することが出来ないのである。

先づ本年の第一期に於ける產額を示すならば、實に左表の如きものである。

月 別	一九二〇年	一九一九年
一 月	七五四、〇〇〇 噸	七一八、〇〇〇 噸
二 月	七九八、〇〇〇	七三四、〇〇〇
三 月	八四〇、〇〇〇	七五八、〇〇〇
合 計	二、三九二、〇〇〇	二、二一〇、〇〇〇

右表の明かに指示してをるやうに、本年の一月は既に昨年一月よりも活氣を呈してゐるが、二月に入つて昨年の二月に於ける產額を抜くこと六萬四千噸の巨額に達したのである、既に二月に於ける鋼塊の產額を見て世界は英國の本年に於ける鋼塊產出の前途に刮目し始めた、と云ふのは

本年二月鋼塊の產出額たる七十九萬八千噸てふ數字は、昨年のレコードたる五月の七十七萬五千噸を突破すること二萬三千噸であつたからである。

處が本年は三月に入つて、更に世界は驚異の眼を見張らねばならなかつた、何故なれば三月に於ける英國の鋼塊は八十四萬噸てふ產出額を記録したからである、斯る數字は昨年に於て之れ無かつたのみでなく、過去に於ても容易に求むることの出来ないものである、試みに戦前の一九一三年に於ける毎月の平均產出額たる六十三萬九千噸に對照するならば、本年の三月に於ける產額は二十萬一千噸と云ふ莫大なる増加であり。更に戦時に於ける努力の跡を繼承した一九一八年の月平均產出額たる七十九萬九千噸に比較するも猶四萬一千噸の増加に當るのである。

かう云ふやうに鋼塊の產出額は銑鐵產額の盛況より遙に活潑であつて、三月まで即ち本年の第一期の合計と昨年のそれとを對照するならば、昨年の二百二十一萬噸より本年は十八萬三千噸を増加して二百三十九萬二千噸である、この徑路を若し順調に辿るならば本年に於ける英國の鋼塊は一九一三年の七百六十六萬四千噸を突破するのみでなく、一九一八年の九百五十九萬一千噸をも超過し、悠々乎と一千萬噸以上の產出額を示すことになるかも知れない、とジョンブルの鼻息は頗る猛烈であるが、予も亦之に共鳴を感ずるものである。

本年に於ける英國の製鐵業はかう云ふやうに銑鐵も三月に於て昨年のレコードを破り、鋼塊及び鑄物は稀有のレコードを示したのであるが、この盛況を果して持續し得るかは問題であると云ふのは、例令炭坑夫の礦山國有を目的の運動が大罷業となる心配がなくなつたにしても出炭の能率が昨年に入つて以來頗る減退した、これは製鐵業と關係が深く最も注意せねばならぬ事實である、勿論本年は昨年の五月頃のやうに各週の出炭量が三百萬噸を降るやうなことはない、併し本年に入つて出炭の狀勢は活潑でない。

この趨勢を辿るならば、本年の出炭量は二億三千萬噸を計上して、昨年と大差なきものであらう、然らば盛況を續けつゝある英國の製鐵業の前途も、又以て大に樂觀を許さない、併し本年の第一期は前述のやうに頗る良好の好績を示したのである。

(鐵世界)

●製鐵救済

兼二浦(三菱系)輪西(日本製鋼即ち三井系)釜石(田中礦山)本溪湖(大倉系)東洋製鐵の五大民間製鐵會社が其製造に係る銑鐵市價の慘落財界不況に因り賣行杜絶、金融梗塞に基く受渡不能等の爲資金固定し經營困難に陥りたる結果過般來其善後策に就き協議を重ねつゝありたるが上記五大製鐵會社の代表者は六月二十二日日本銀行に井上總裁を訪問し縷々陳情する所ありしが總裁に於ても其意を諒とし先

づ現在各製鐵會社の手持品(兼二浦二萬五千噸、本溪湖二萬噸、釜石、輪西、東洋製鐵各一萬噸合計七萬五千噸見當と稱せらる)を擔保として一千萬圓見當の資金融通を承諾せりと云ふ從つて製鐵業者の希望なる現在手持品及び向ふ六箇月間の生産品に對し合計二千萬圓(或は二千五百萬圓とも云ふ)の融通を受けんとせる中現在手持品に對する分のみは承諾を得たるも將來の生産品に對する分は資金枯渴の理由を以て拒絶されし模様なり、而して當初は井上總裁の意嚮もあり旁五大製鐵會社は各社個別的に資金融通を仰ぐ事となり、其結果權衡上製鐵會社も亦資金の融通を受くるに至るべしと。

●本邦銑鐵減産

世界大戰の齎せる我が經濟界の發展は今回の反動的物價暴落に遭遇して一大頓挫に陥れり。想起するに歐洲戰亂勃發後銑鐵の輸入杜絶と海運界の發展に伴ふ造船業の活躍とは相俟つて鋼鐵の需要を激増し市價の奔騰は殆んど底止する處を知らざるの趨勢にして八幡製鐵所拂下入札價格の如き噸當り一時千三百圓臺を唱ふる奇蹟的現象を呈するに至れり、是れが爲め我國製鐵業は未曾有の發展を來し製鐵所の大擴張を始め各地既設製鐵會社の擴張又は新設會社の設立全國に亘り約百六十ヶ所に上り且つ此の外再製銑の製鐵業を計畫されしもの數十の多きに達する等製鐵事業の投下

資本額は實に三億五千萬圓に上り熔鑛爐の如き新設されたるもの約三百基計畫中に屬せしもの二百を算するの隆盛を告げ戦前僅々二十萬噸の生産額に過ぎざりしものが一躍一百萬噸の鋼鐵生産能力を見るに及びたり今大正七年度統計に據る生産能力を示すに(單位千噸)

産業地	銑鐵	鋼鐵	鋼材
官民計	四〇〇	六八〇	四五〇
朝鮮	二三五	五〇〇	二六〇
滿洲	六三五	一、一八〇	八一〇
總計	一一〇	一五	一〇
	七九五	一、一九五	八二〇

にして之れを大正六年度に比較するに銑鐵に於て三十三萬五千噸、鋼鐵に於て三十八萬七千噸、鋼材に於て三十一萬噸の増加なり是等確實なる統計を基礎として某専門家の測定に依れば大正九年度に於ける生産能力豫定は銑鐵百三十一萬噸、鋼鐵百八十八萬噸、鋼材百三十五萬噸なり之れ當時に於ける製鐵界の大勢より推斷せる數字にして當らずと雖も遠からざるものなりしならむ、然るに時局の轉換は何人と雖も豫期し得べきに非ず俄然財界の不振より金融の逼迫資金の梗塞は權威ある此の統計を裏切つて混沌慘澹たる中に事業の中止或は縮少となり現在に於ては既に往時の佛を認めず今試みに八幡製鐵所調査課の調査に據る我國現在の主要製鐵所状況を列記し如何に悲慘なる運命にあるかを明にせむ。

(△印は中止せるもの、單位千噸)

社名	自八年度至十年度に於ける豫定生産能力	現在
八幡製鐵所	四〇〇	四〇〇
東洋製鐵	二二〇	六〇
釜石製鐵所	一四〇	一〇
北海道製鐵	一〇〇	四〇
△中國五箇入	五二	一〇
△日本製鐵	六	一〇
△栗木鐵山	三	一〇
△仙人製鐵	三	一〇
△日本製鐵	三	一〇
△三菱製鐵所	八〇	五
△本溪湖製鐵	九〇	六
△日本鋼管	五〇	一〇
△中國製鐵	一六	一〇
△山陽製鐵	一二	一〇
△米子製鐵所	二	一〇
△安來製鐵所	一	一〇
△其他	五	一〇
合計	一、一八三	六一〇

依是觀之現今我國銑鐵生産高は漸く六十一萬噸に過ぎず而して實際の生産額なるものは其の二三割方減退すべきものなれば辛うじて四十五六萬噸より五十萬噸内外の生産額にして實に隔世の感なき能はず現時我國に於ける鋼鐵需要額は百八十萬噸乃至二百十萬噸なるに、外國より輸入の途なく内製鐵業不振を加へ國運發展上最大痛恨事たらざるを得ず、於是歟製鐵業保護救濟策は目下の大問題となり製鐵業の奨励に關して政府は財政經濟調査會と共に多大の注意

と努力を拂ひつゝあるが戰時中制定されし獎勵法の適用及び生産能力促進方策として所得税の免除特殊機械の輸入税免除の外國引上又は獎勵金補助等製鐵振興に腐心研究し居れるも第一の先決問題として此際徹底せしむべきは内地製鐵事業の組織變更即ち大々的シンジケート若くはトラストを組織して豊富なる資金（現在の状態ならば少くとも一千万圓を要すといふ）元費の節約賣買の協定價格の均一等によりて自給自足以て系統的大製鐵業の進運發達を企畫し世界の大勢に順應するに非ざれば本邦製鐵界の前途や暗澹たるものあらん。

（帝國）

●東洋一の大平爐

八幡製鐵所にて現在使用してゐる平爐は五十噸六十噸の二種であるが是は極めて舊式である上に取扱ひが頗る面倒であり且つ最も不經濟なる所から今回新たに米國の最新式二百噸傾注平爐二基を購入しその到着を待つてゐる、右の平爐は我國に於て初めて設置するもので、米本國に於てすらも三百噸以上の平爐はない、英、獨國では百七十五噸傾注式平爐を以て最大限度としてゐるそれで愈々据付を終れば東洋第一といふことになる、現在の平爐は約十一時間乃至十二時間に一回五十噸の出銑に對し右の平爐は六時間毎に五十噸を出銑するから殆ど現在の三倍強の出銑能率を見る譯である。

●北樺太埋藏石炭

北樺太の炭量に就き最近其筋の調査する所に依れば西海岸一帯に豊富なる炭脈あり炭質亦甚だ良好にして殊にアレキサンドロフスク附近には良質の石炭を産し露國鑛山技師の調査によれば埋藏量實に百億噸の多量に達すべしといふ西海岸中アレキサンドロフスクとアグネオ河間の産炭は最も良質にしてアグネオ以南日露國境に至る間の産炭地に次ぎアレキサンドロフスクよりホイ間は埋藏量多きも炭坑の數は十三、官有又は個人經營あり、官有は目下拋棄の状態にありと。

●獨逸に於ける製鐵業救済

六月十七日當市着紐育電報に依れば、獨逸政府は自國內の製鐵業救済整理の目的を以て製鐵業協議會を新設し、其本省をゾッセルドルフに置くに決せり、該局は二局より成り其一局は、銑鐵、フェロマンガン及びフェロシリコンを統一し、他の一局は半製品、鐵道附屬品、棒鐵、板鐵、型物、瓦斯管等を統一するものにして該協議會は生産者及貿易業者、需要家より成る七十名の代表者を以て組織せられ右二局内に含まれ居る雇主、雇傭者は共に同一の投票權を有するものなりと。

●米國產鐵增加

七月十四日當市着、紐育電報に依れば、米國鋼鐵生產高は増加して製鋼所の能率は改善されたる模様なり、五月の粗鋼生產高は二百八十八萬三千噸を示せり、併し鐵道の便の未だ十分ならざる爲め積出し困難なり従つて新規注文の多少の如きは相場を左右する材料としては左程問題にならず、最近吳服物等は暴落を演じたるも鋼鐵の相場は何等の影響を蒙らず燃料は今以て不足にて生産者を苦しめ居れり銑鐵生産者は貨車不足の爲め多大の不便を感じこれが爲に材料は製鋼所に停滯し居れるが市況は耽りにて鑄物用銑鐵の如きは時々上向傾向なり製鐵所は今後數箇月間の仕事を有する爲め新規の約定は困難なり。

●鐵市場前途

鐵材市場は財界恐慌と金融梗塞の關係より相場激落し銑鐵九十五圓丸鐵五圓五十錢角鐵六圓アングル五圓五十錢見當と三月初旬頃の高値に比し銑鐵は約四割他の鋼材は約六割以上の激落である之が爲め漸く蘇生の状態にあつた本邦製鐵事業は再び蹉跌し鐵商の窮境曝露となり果ては救濟團組織の運動となれるが今斯界の前途に就き觀測を試むるに救濟團組織は大小商店の間に各利害の相反するものありて到底容易に成立の見込なく且つ周圍の狀態は容易に樂觀を許さない者がある即ち英米市價が英國銑鐵本邦着百七十圓米國同百五十圓英國鋼材同上二百七十圓米國鋼材同上二百

四十圓を唱へ居れるが本邦今日の財界不況は一朝一夕の因由に依りて生じたる結果でない以上急速に恢復を見る事到底期し得られず一方斯界の内地需給狀態は過般鐵商救濟團組織委員等の調査せる數量に依るも今後の供給量は五月末現在大阪神戸横濱名古屋各地在荷十六萬千七百八十三噸六月一日以降入荷並に引取るべき海外及内地先約定品十萬九千五百六十六噸合計廿七萬一千三百七十六噸あり右計算の外なる銑鐵及レール並報告洩れの分を合算すれば本年中の本邦鐵供給額は意外の多額に上り事業界緊張に依る需要減少と相俟つて到底近き將來に供給不潤澤となる如きは豫想し得ず従つて遠き將來に涉る大勢觀は兎に角目先觀としては何等かの突發的材料なき限り不況の現狀を持續するを免れない尤も英米市場は前述の如く依然として強調にある關係上若し此上の崩落あらんか對外輸出は例令望み少しとする大手筋にありては後日の昂騰を豫期して買集めを爲さんとしつゝある向あるも結局斯界の前途は概ね現在の不勢を持續して無活氣の中に維持するであらう。

●支那製鐵業近況

●龍烟鐵鑛 陸宗輿を督辦とせる龍烟鐵鑛は官民合辦五百萬元の巨資を擁し採鑛煉鐵の事業を經營せる者なるが煉鐵既に二萬餘噸に達し化學工業學會の分析試験に據れば其品質極めて佳良にして漢冶萍の上に出て各地の賣行飛ぶが如く今日の規模を以てしては到底需要に満足を與へ難きより

本年は三家店地方に煉鐵工廠及コークス製造場を増設し白耳義の某博士を聘して技師長となし銳意發展を圖ることに決し増資に對しては農商交通財政各部盡力すべく陸氏經營の手腕嘖々たる好評を博しつゝあり。

●南支製鐵業 支那製鐵業は戰時中頻に發展を續け上海の如きは小規模の鐵工場續出し比較的大規模なる計畫も亦二三あり即ち滬寧停車場附近に新設されたる合興廠は前の求新廠を引繼げるものにて現に三百餘人の職工を使役し居れるが同工場の經營者として江蘇議員たる莊查は目下上海の資本家等と協力し更に大規模なる製鐵所を創立すべき計畫中なり閩北顧家灣にある大效廠も先月開業を見たるものにして目下發電機扇風器精米器其他の小型機械類を製作し昨年開業せる浦東の和舉廠は目下熔鐵爐二基を使用し木炭熔化焦炭熔化の二部を設け電車會社の注文に應じ居れり大規模の製鐵所中前農商總長張養氏等の計畫せる大陸製鐵公司は最初例の鳳凰山鐵鑛に近接せる某鐵鑛の原鑛を使用する筈なりしも其後違算の點ありしを發見し目下江西省方面に於て良鑛山を物色中なるが同公司の資本中多數の米國資金ありとの風説は確否不明なり安徽督軍倪嗣冲氏の二千萬元の資金を以て製鐵所を創設すべき計畫は徐ろなれども進行を續け居り漢陽製鐵所程のものにはあらずとも揚子江下流にも早晚一製鐵所の現出を見るは確にして安徽省の鐵鑛に富めるは湖北に劣らざる見込なりと云ふ。

●大冶鐵山の近況 同鐵山と日本との關係は益々良好にして昨年同鐵山の八幡製鐵所其他への鑛石供給額は約三十六萬噸に上り三千噸及五千噸の若松丸、松浦丸等の汽船二十一艘は定期に揚子江を上下しつゝあり本年日本への供給額は六十萬噸に増加さるべしと、一方漢冶公司の發展も頗る見るべきものありて現在の大冶鐵山（獅子山、鐵山鋪）の外に鄂城縣の靈鄉鐵山、象鼻山及江西省の城門鐵山等を併合して採掘を開始すべし。

●象鼻山鐵山 大冶に昆連せる大鐵山にして老鼠尾嚴鮑地尖兒山等より成る含鐵量六十%あり鑛量二千萬噸と稱し曩に湖北省にて米商アンダーソンメーヤーと契約し米人技師を聘し輕便鐵道を敷設し採鑛機械の据付けをなすべき計劃ありしものにて今日まで發見せられたる長江筋の鑛山中最も有望なるものなり、尙大冶鐵山に就きては近時英人間に同鑛山の鑛量は日本技師の見積り額より遙に少く九百萬噸を有するに過ぎずとの説傳へられつゝあるが假令事實なりとするも象鼻山にして採掘さるゝ以上日本は長き將來に亘りて鐵の供給不足を感ずることなかるべし。（支那鑛業時報）